

令和2年5月26日

関係各位

和歌山県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部
部長 村岡 宏起
委員長 角谷 芳史

県高校総体バスケットボール競技代替大会を設定・開催しないことについて

平素は本専門部の活動に際し、ご理解ご協力いただき深く感謝申し上げます。

また、今回の新型コロナウイルス感染症に際しましては、厳しい対応を迫られていることと御案じ申し上げます。

さて、4月30日に和歌山県高等学校体育連盟から「令和2年度和歌山県高校総体の中止」が発表され、併せて各競技ごとに代替大会の開催が設定できるかどうかの検討の依頼が各専門部に出されました。これを受け、本専門部では、標記大会設定・開催の可否について検討いたしました。

現在、県内ほとんどの学校は今月末まで臨時休校となっています。生徒は6月1日再開予定の授業や学校行事が最優先であり、特に3年生は進路決定に向けて重要な時期となります。標記大会を設定・開催するとしても、11月上旬に県高校秋季選手権大会が開催予定である関係もあり、可能な日程が非常に限定的になってしまい、会場の確保も容易ではありません。また、各校で部活動が再開されても、その限定的な期間内では、練習不足による生徒のケガや熱中症の危険性が大いにあること等、多くの課題があります。

さらに、バスケットボールはいわゆる「3密」の内の「密接」と「密集」が避けられない競技特性があり、実際、体育の授業では身体接触を避けること、部活動では対人練習に取り組まないこと等の通達が県教育委員会から出されています。加えて、公益財団法人日本スポーツ協会から出されている「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や、県高体連からの「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る県高体連（専門部を含む）主催大会等への対応について」を含めた「(代替大会が)開催できる条件」を遵守することは極めて困難だと判断いたしました。何よりも、生徒の安全確保を最優先し、標記大会を設定・開催しないことにいたします。

3年生の引退をかけた最後の大会を設定・開催できないことは、大変残念ではありますが、生徒の安全を第一に考え、苦渋の決断をしなければならないことを、何卒ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

※以下の点についてもご承知ください。

- ①今年度から実施を計画しているU18リーグ戦（県バスケットボール協会主催／本専門部協力）については、3年生の出場について検討した上で、実施する予定です。
- ②今年度ウインターカップについては、現時点では実施予定です。